

再評価【番号5】

総合流域防災事業
二級河川吉野川水系 黒谷川

1. 河川の概要

黒谷川
流路延長 L=8km
(県管理区間)
流域面積 A=14.6km²



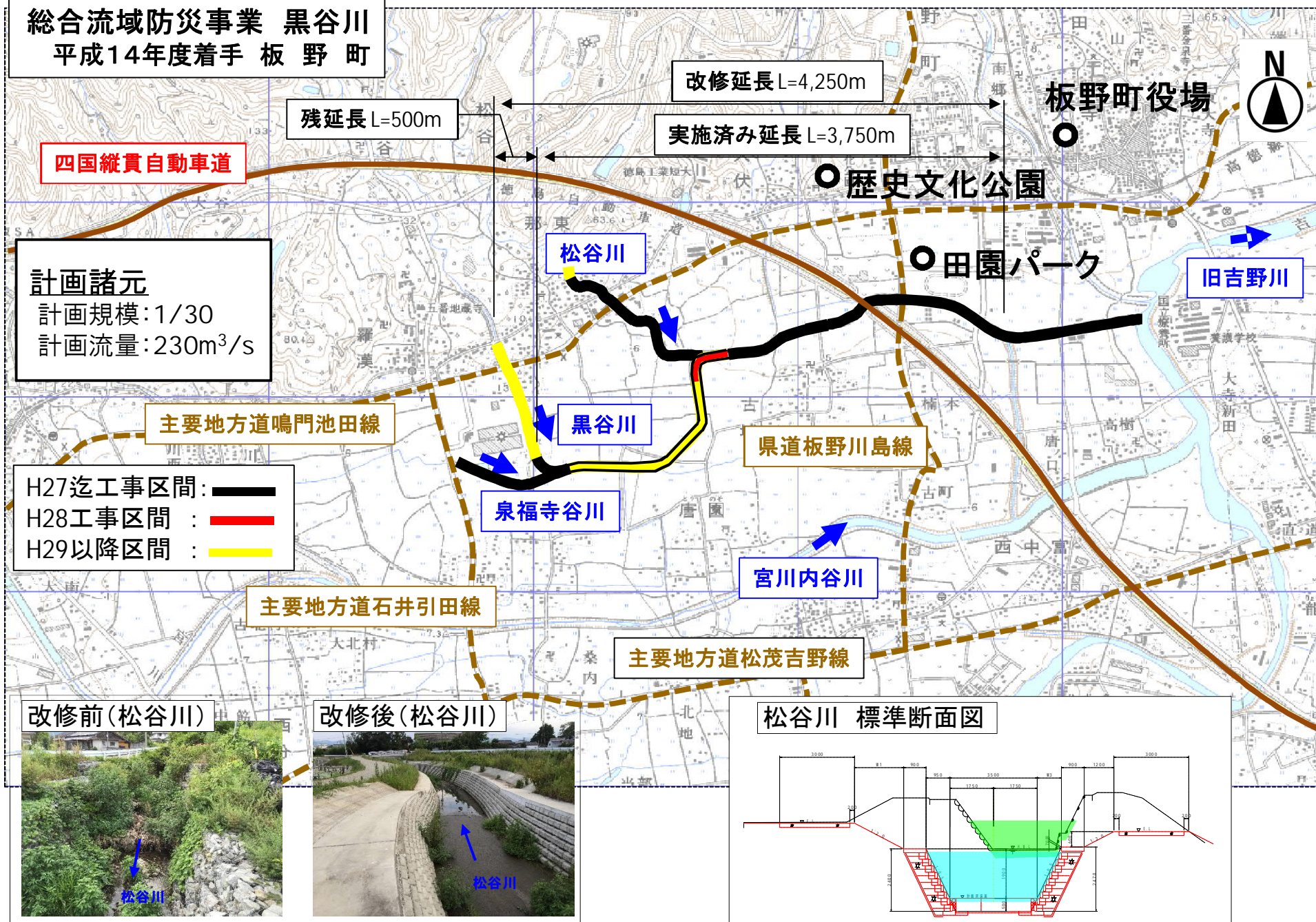
平成16年台風23号
浸水面積：178ha
浸水戸数：26戸

■：H16台風23号 浸水区域



2. 事業概要

総合流域防災事業 黒谷川
平成14年度着手 板野町



3. 整備効果

【マニュアルによるB/C】

便益 (B)

- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 営業停止被害
- ・ 応急対策費用 など

被害軽減期待額

→便益 B = 90.87 億円
(現在価値化後)

費用 (C)

- ・ 建設費
- ・ 維持管理費 (整備後50年間)

費用 C = 16.97 億円
(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 5.4$$

【その他の整備効果】

貨幣価値に表れない整備効果

人的被害の軽減

- ① 浸水区域内人口の減少
- ② 浸水区域内災害時要援護者数の減少
- ③ 浸水区域内最大孤立者数の減少

医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

- ① 機能低下する社会福祉施設数

ライフライン停止による波及被害の軽減

- ① 電力の停止による影響人口
- ② 通信 (固定) の停止による影響人口

貨幣換算可能な整備効果

交通途絶による被害

経済被害の域内・外への波及被害

水害廃棄物の処分

※水害の被害指標分析の手引 (H25試行版) 平成25年7月
(国土交通省 水管理・国土保全局)による

4. その他の整備効果

貨幣価値に表れない整備効果

人的被害の軽減

浸水区域内人口	636人
浸水区域内の災害時要援護者数	243人
最大孤立者数	141人

医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

社会福祉施設数	8施設
---------	-----

→災害時の社会福祉体制の確保

ライフライン停止による波及被害の軽減

電力の停止による影響人口	30人
通信(固定)の停止による影響人口	30人

→安心できる住民生活環境の確保

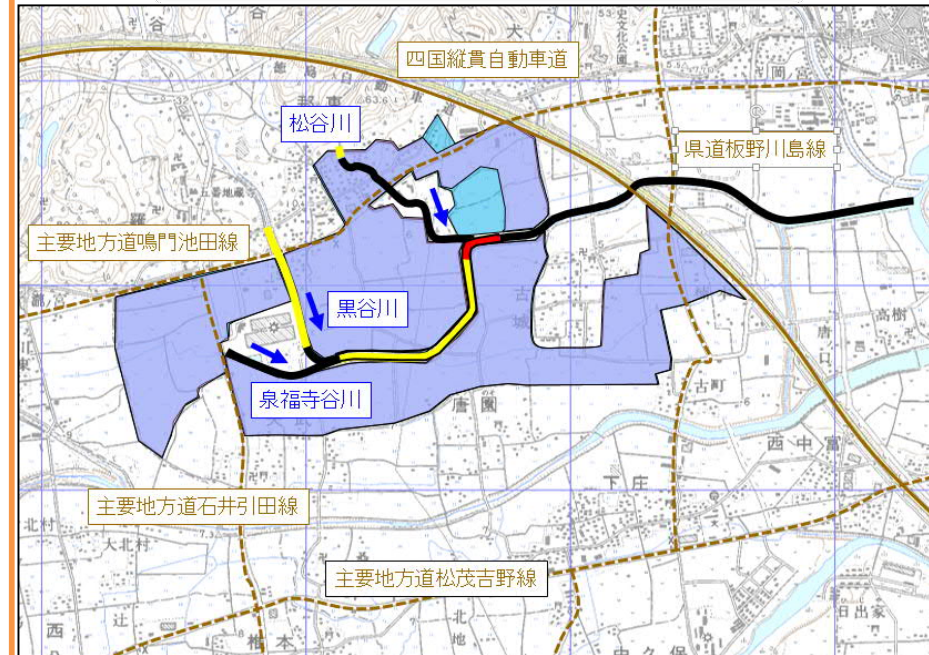
交通途絶による被害

出水1回当たり
5百万円の被害を軽減

経済被害の域内・外への波及被害

出水1回当たり 37百万円の被害を軽減

貨幣換算可能な整備効果

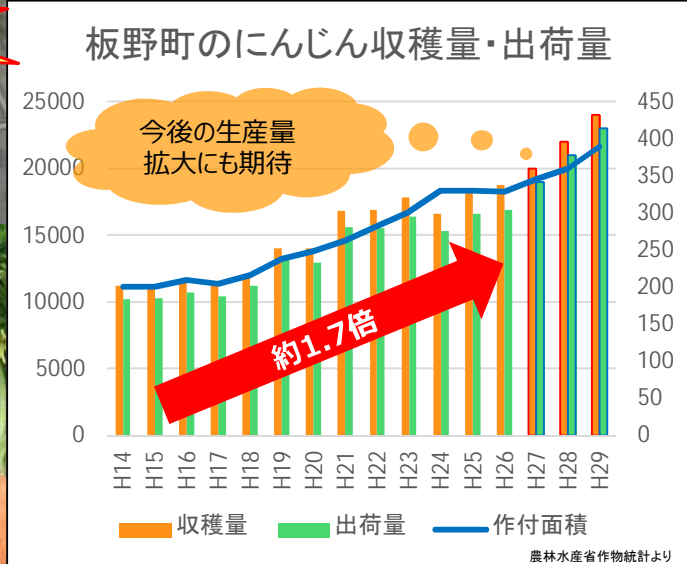
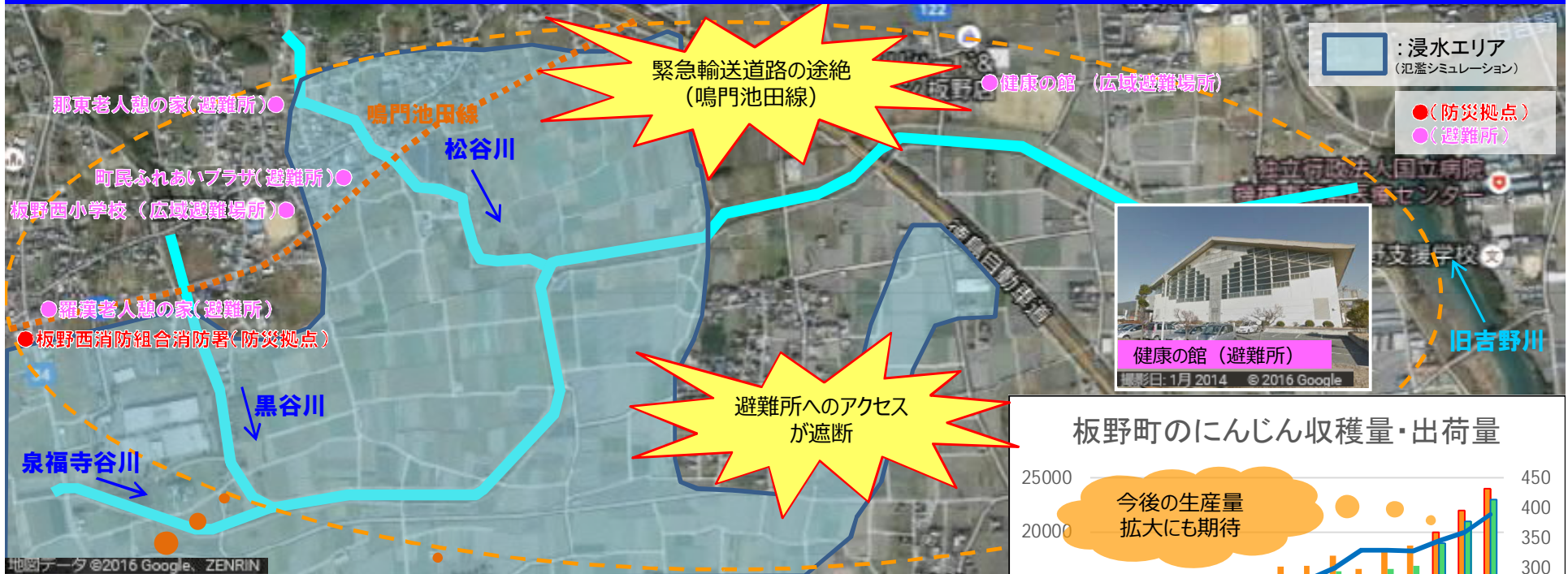


水害廃棄物の処分

出水1回当たり
3百万円の被害を軽減

出水1回当たり被害額
=約0.45億円

5. 河川整備によるストック効果



春夏にんじんの栽培が盛ん

4~5月にかけては全国的に圧倒的なシェアを誇る！

春夏にんじん生産量 徳島県 全国第1位 板野町 県内第1位

